

東京海洋大学基金 令和4年度活動報告 (ダイジェスト)

令和5年8月29日(火)

第3回東京海洋大学感謝の集い

本日のご報告

01.基金の概要

最近5カ年の基金の状況と令和4年度の収支状況をご説明いたします。

02.令和4年度の 主な活動内容

令和4年度にご支援により実施した主な事業についてご説明いたします。

03.基金強化事業 (取組ご紹介)

04.これからの 基金強化事業

大学基金の強化支援事業についてご説明いたします。

- ・卓越大学院プログラム教育基金
- ・海外探検隊等学生派遣事業



01.基金の概要

最近5カ年間の受入状況は、令和2年からの新型コロナ禍の影響もあり、ご支援をいただいた件数だけを見ても、減少傾向にあります。しかし、これまでのご支援をいただいた基金財源により、一定水準の支援活動が支えられています。

その中でも基金による学生への支援活動を振り返り、これからの基金についてご説明します。



これまでのご支援

最近5カ年のご支援状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
一般基金	6,261,035円 99件	4,712,989円 99件	3,579,111円 92件	7,316,000円 100件	1,503,005円 64件	23,672,140円 455件
修学支援基金	13,206,000円 99件	4,258,000円 71件	8,951,000円 103件	18,342,000円 77件	4,306,936円 74件	49,063,936円 424件
研究等支援基金				新設 676,000円 9件	2,710,000円 16件	3,386,000円 25件
学部／研究科等基金	11,538,000円 131件	9,077,000円 99件	2,905,000円 59件	2,828,500円 62件	7,379,000円 54件	33,727,500円 405件
特定プロジェクト外	1,722,635円 22件	8,928,270円 204件	1,644,475円 46件	39,935,662円 33件	2,441,000円 32件	54,672,042円 337件
三輪正人育英基金			250,000,000円 1件		10,806,692円 1件	260,806,692円 2件
合計	32,727,670円 351件	26,976,259円 473件	267,079,586円 301件	69,098,162円 281件	29,146,633円 241件	425,328,310円 1,648件

令和4年度の収支状況

令和4年度受入額 29,146,633円

受入件数 241件（対前年度約14%減）

令和4年度支援活動額 39,250,150円

学生の修学支援 20,090,433円

（海外派遣研修費含む）

教育研究環境の整備 315,545円

学術資料の収集・管理等 17,161,306円

基金活動運営経費 1,682,866円

※令和4年度収支差額10,103,517円は、前年度からの繰越金により措置させていただきました。

02. 令和4年度の主な活動

修学支援事業基金による支援

▶ 学資支給事業（困窮成績優秀学生支援）

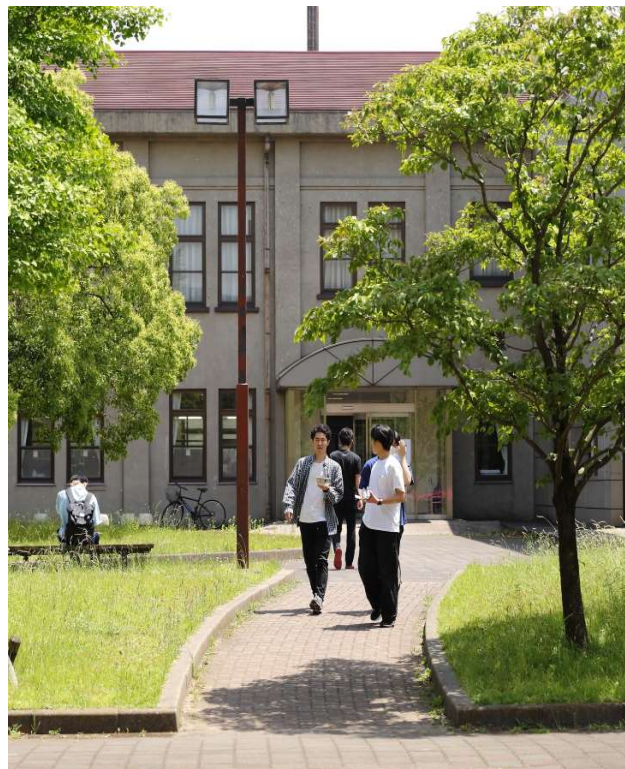
【支援額】 30名×100,000円

▶ 新型コロナウイルス感染症対策醸成事業（食に対する支援）

【支援額】 167名×10,000円

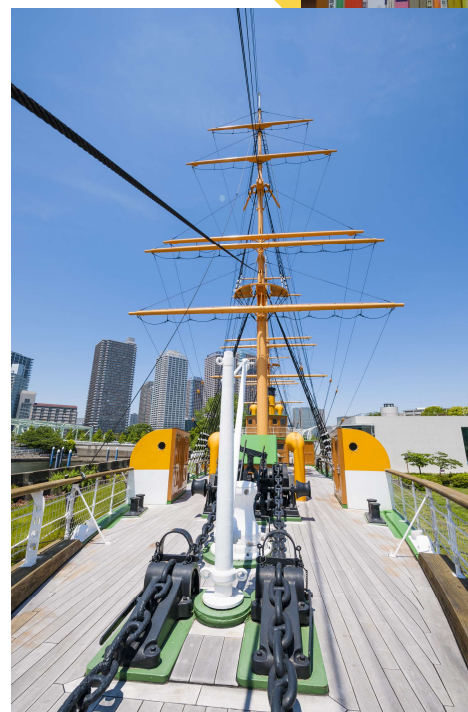
▶ 国際情勢等による物価高対策支援事業

【支援額】 86名×5,000円



学術資料の収集・管理等


- ▶ 大津皓平文庫の整備充実
【支援額】 1,280,042円
- ▶ 附属図書館整備充実（学生用図書・電子書籍購入）
【支援額】 484,570円（80冊）
- ▶ 明治丸船橋等内部塗装等維持保全修理
【支援額】 14,381,210円
- ▶ 雲鷹丸定期修繕及び船内倉庫整理
【支援額】 1,006,484円



03.基金強化事業（取組ご紹介）

・卓越大学院プログラム教育基金事業のご紹介

・学生海外派遣事業のご紹介



海洋産業AIプロフェッショナル 育成卓越大学院プログラム のご紹介

目指すもの

本学が有する海洋、海事、水産の専門知識とフィールドに関する豊富な経験を元に、的確に人工知能を用い、その社会実装を主導するイノベータ・高度専門技術者や海洋政策の立案を行う人材である

「海洋産業AIプロフェッショナル」

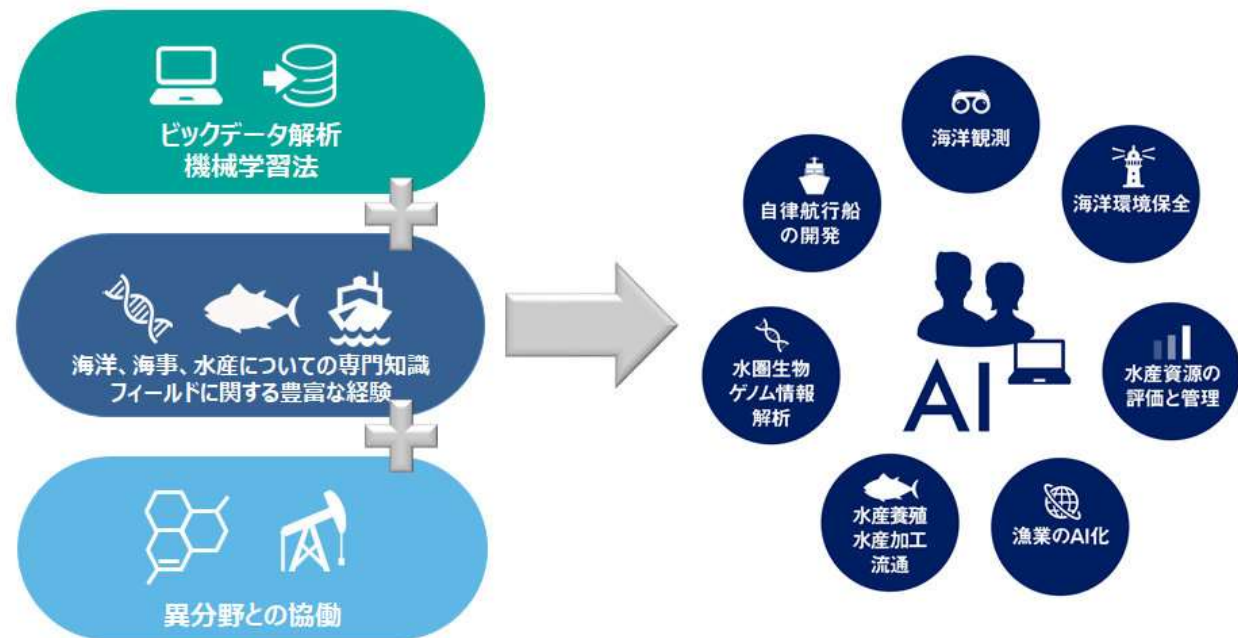
の育成を目指しています。

挑戰



育成する人材像

- AIの社会実装に必要な知識とスキル
- 応用する課題の把握、課題解決に向けた応用技術の企画、立案能力
- 科学的有効性、妥当性を評価するための研究計画立案、検証、解析能力
- 結果に基づく適切な意思決定、情報発信能力
- 結果を科学的に正しく解釈、活用できる能力



令和4年度主な活動内容

- ・ 第1回海洋AI公開セミナー開催（2022年7月）
海洋分野へのAIの活用事例を学び今後の研究やビジネスに活かすことを目的として開催
- ・ 第2回海洋AI公開セミナー開催（2022年12月）

【インターンシップ実績】

- ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）
- ・ 国立研究開発法人水産研究・教育機構 開発調査センター
- ・ 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
海上技術安全研究所
- ・ いであ株式会社 国土環境研究所
- ・ BEMAC株式会社 東京データラボ
- ・ NPO法人マリン・テクノロジスト
- ・ 公益財団法人笹川平和財団 海洋政策研究所
- ・ 株式会社イノカ
- ・ 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）
衛星利用運用センター（SAOC）

海洋産業AI | プロフェッショナル育成卓越大学院プログラム
2022年度 第1回海洋AI公開セミナー

Marine AI

海洋×AIの取組事例

講演1
「高潮予測システムの開発〜物理予測とAI予測を用いた2つのアプローチ〜」
一般財団法人 日本気象協会 事業本部 社会・防災事業部
交通ソリューション課 港湾・海運・航空グループ
竹田 聖二 氏

講演2
「海洋地球科学におけるAIとオープンデータ」
国立研究開発法人海洋研究開発機構 付加価値情報創生部門 地球情報科学技術センター
データサイエンス研究グループ・グループリーダー
松岡 大祐 氏

講演3
「船舶用障害物検知システムの開発」
東京海洋大学 海洋電子機械工学部門 教授
清水 悦郎 氏

2022年 7 月 27 日 (水)

15時00分～17時15分

Cisco Webexを用いた遠隔開催

【対象】学生、教員、研究者、民間企業など

【参加費】無料

【言語】日本語 ※リアルタイムで他言語の翻訳テキストを参照可能

【申込】事前登録制（左記QRコードより登録ください）



登録先

2022年度 第2回海洋AI公開セミナー
The 2nd Marine AI Open Seminar in AY2022

Marine AI

海洋×AIの海外先進事例

Advanced Case Studies of Marine x AI

[In English] [Online]

Lecture 1
Deep learning-based sea state estimation using sensor data of wave-induced ship responses
Ulrik Dam Nielsen and Malte Mittendorf
Department of Civil and Mechanical Engineering, Technical University of Denmark (DTU)

Lecture 2
Self-Piloting Boats – Autonomous Ship Control with Unreal Engine and the MindMaker Machine Learning Plugin
Aaron Kruminis
Machine learning consultant, AUTONOMOUS DUCK (Question and answer session)
Nemesio Asael Melendez Rivera (Student of the WISE program)

Lecture 3
Applications of machine learning in Norwegian aquaculture – examples and outlook
Lars Christian Gansel
Department of Biological Sciences Ålesund Faculty of Natural Sciences, Norwegian University of Science and Technology (NTNU)

December 9th, 2022
15:00 ~ 17:15 (JST)

Online (Cisco Webex)
[Target] Students, teachers, researchers, company employee, etc.
[Participation fee] Free of charge
[Application] Pre-registration required
Please register using the QR code on the right.
[Language] English
※講演には日英通訳または日本語字幕あり、質疑応答には通訳を予定しています

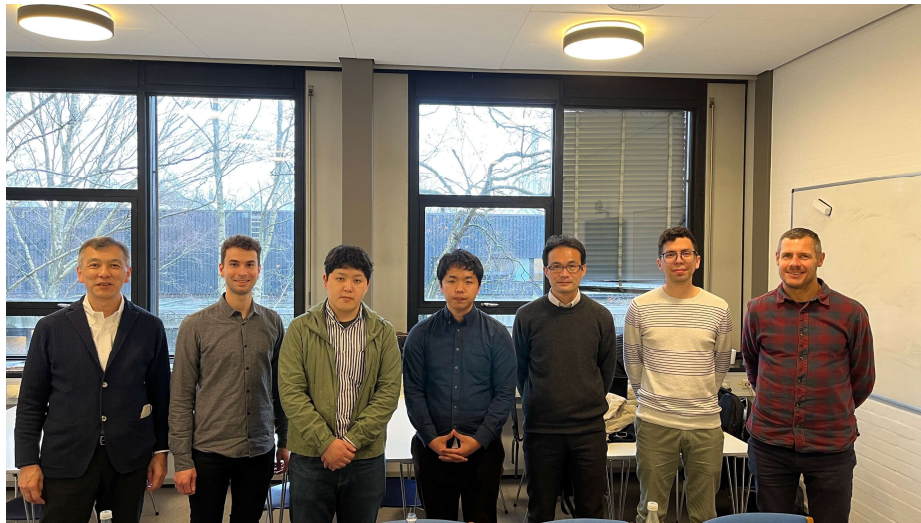


令和4年度主な活動内容

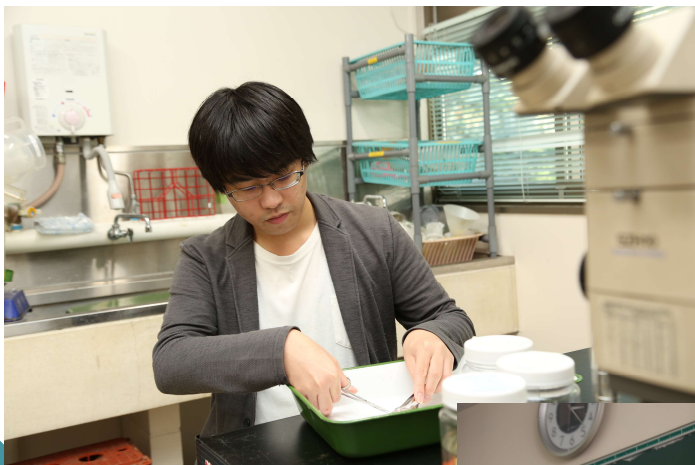
- ・ 海外視察 北欧2か国（デンマーク、ノルウェー）訪問
2023年3月11日～3月18日

第2回海洋AI公開セミナー（2022年12月）で紹介された
北欧2カ国海洋AI先進事例について視察しました。

訪問先：デンマーク工科大学（DTU）
ノルウェー科学技術大学オーレンス校（NTNU）



学生への支援 (経済支援)



経済支援

教育研究支援経費（給付型支援経費）

- プログラム博士前期課程修了時に行う審査で優秀な成績を修めた学生から選抜
- 各入学年度に上限5名まで
- 博士後期課程プログラム期間支給

研究活動費・旅費支援

- プログラム活動に必要な研究活動経費
- 国内外の旅費の補助

卓越RA（リサーチ・アシスタント）制度

- プログラムの研究活動に有益な研究業務に従事することで経済支援を実施

学生紹介

プログラム4年次（博士後期課程
応用環境システム学専攻）

尾関 友啓 OZEKI TOMOHIRO

卓越大学院プログラムで多くのつながりが生まれ、刺激を受けています。

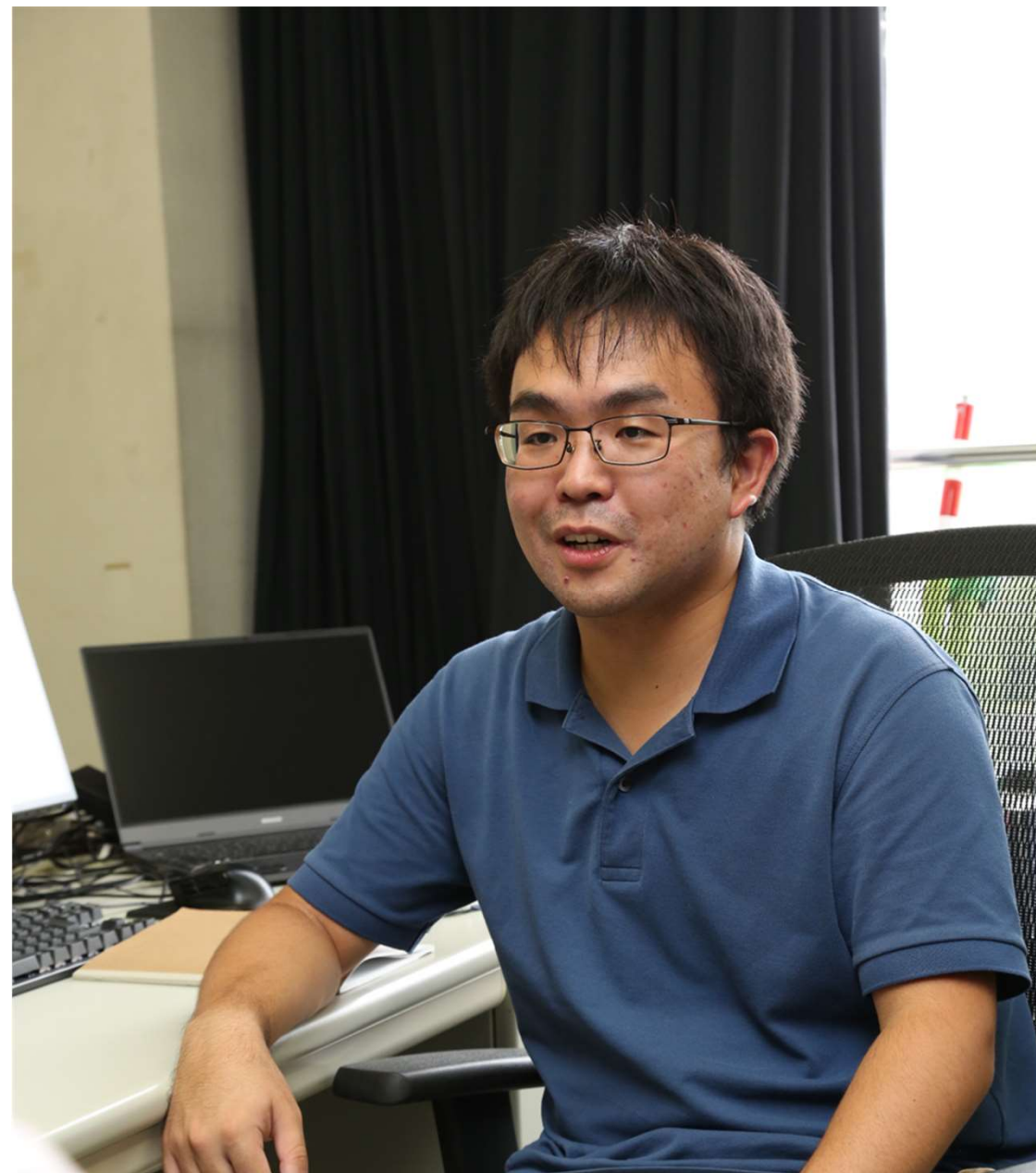
日本でのGPS研究はブルーオーシャン、企業との共同研究の機会が多く、いろいろな場所に行ける機会が増えます。

普通ならなかなか行けない場所に行けるのは、この研究の面白いところです。

特に企業の方々と知り合えると世界が広がります。

社会問題を解決する醍醐味を日々実感しています。

教育研究支援経費の支援を受け充実した研究活動が行われています。





皆様のご支援の お願い

海洋産業AIプロフェッショナル育成卓越大学院プログラムはこれまで、国の支援を受け、事業活動を行ってきました。

これからは、大学独自財源での事業展開を求められております。

未来につながる事業として、皆様のご支援をお願いいたします。

海外派遣キャリア演習／長期学外実習

海外探検隊のご紹介

令和5年8月29日

第3回東京海洋大学感謝の集い

04.これからの基金強化学業

・卓越大学院プログラム教育基金の強化課題

- 海洋産業AIプロフェッショナル育成卓越大学院における経済支援制度の強化
- 優秀学生に対する博士後期課程における支援充実
- 卓越大学院プログラム教育基金では、基金設置の令和元年からのご寄附平均10.8件/年、3.2万円/年

大学措置により運営しているが、今後国からの支援終了に伴い、基金の強化充実は必須

・学生海外派遣事業の強化課題

- グローバル人材育成（海外派遣）の更なる強化充実
- 海外でのキャリア実習の安定的な実施環境の確保
- 大学基金だけでは支援しきれない財源の確保
- グローバル教育基金では、過去5カ年のご寄附平均3.4件/年、6万円/年程度

実質的には、大学基金以外の学術奨励基金や学部基金等により実施

安定的に事業遂行のためにグローバル教育基金の強化充実は必須



最後に

これまでの皆様のご支援に感謝申し上げます。

大学基金の充実を図ることにより、学生への支援を充実確保し、学生が安心して学べる環境を今後も確保していきます。

これからも大学基金へのご支援をお願いいたします。